

じもとしょうかい いこら一 地元紹介

だい かいめ と あ じむしょ と ほ ふん きょり つうしょう たこじぞう
第1回目に取り上げるのは、いこら一事務所から徒歩5分の距離にある通称：蛸地蔵
てんしょうじ きしわだしみなんまち
こと天性寺(岸和田市南町43-12)です。

てら むかしばな
このお寺には、とてもおもしろい昔話があります。

むかし てんしょうねんかん 一五七三～八六 きしわだじょう わかやま ねごろ さいかしゅう せ
その昔、天正年間(一五七三～八六)岸和田城は和歌山の根来・雑賀衆に攻
められ、落城寸前であった。その時、大蛸に乗った一人の法師が岸和田の海から
あらわ すき いきお てきへい たお てきせい も かえ たこほうし と
現れて、凄まじい勢いで敵兵をなぎ倒した。しかし、敵勢が盛り返して、蛸法師を取
り囲もうとした時、海辺より轟音をたてて幾千幾万の蛸の大群が現れ、敵を殺害する
ことなく和歌山へ退却させた。城主松浦肥前守は喜び、その法師を探したが、結局
わからなかった。ある夜、法師が城主の夢枕に立ち、自分は地蔵菩薩の化身である
と告げたので、そのむかしせんらん まも ため ほり う かく い じぞうそんぞう だ まつ
昔戦乱から守る為、堀に埋め隠し入れた地蔵尊像を出してお祀
りした。ぶんろくねんかん 一五九二～九六 いっぱん ひとにもその御利益を受けられる
ように天性寺内にある日本一大きな地蔵堂に移され、現在に至る。現在はだんじり
こうむてん ゆうめい おおしたこうむてん ほんどうかいしゅうしゅうりこうじちゅう
工務店で有名な大下工務店による本堂改修修理工事中です。

ひぶつ たこじぞう まいとし がつ にち にち おこな じぞうぼん せんにおおほうかい
秘仏の蛸地蔵は毎年8月23日と24日に行われる地蔵盆の「千日大法会」で
かいちよう とく ひ かないあんぜん むびょうそくさい いの さんけいしゃ にぎわ
開帳される。特にこの日は、家内安全や無病息災を祈るたくさんの参詣者で賑いま
す。

ちいき ひと たこ いっさいた や た がん
また、この地域の人は蛸を一切食べずに(もちろんたこ焼きも食べない)、願をかけ
ふうが たこえま むすう ほうのう
る、風変わりな蛸絵馬が無数に奉納されている。



こうつう
交通アクセス

- 電車でのアクセス
 - 南海本線 蛸地蔵駅 → 西方向に約 500m
- 車でのアクセス
 - 阪神高速道路 4号湾岸線 岸和田駅南出口
 - 参拝者用の無料駐車場有

最寄駅の南海蛸地蔵駅の天窓には、蛸地蔵物語がステンドグラスとしてはめ込まれています。



いんようぶんけん
引用文献

- 『岸和田の歴史』
- 『聖地蔵尊縁起』天性寺

インターネットより

蛸地蔵商店街HP <http://www2.sensyu.ne.jp/sakuraya/takojizou.htm>

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E6%80%A7%E5%AF%BA_\(%E5%B2%B8%E5%92%8C%E7%94%B0%E5%B8%82\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E6%80%A7%E5%AF%BA_(%E5%B2%B8%E5%92%8C%E7%94%B0%E5%B8%82))